

第 96 号

2014年9月

ラ・ルーラ通信

＜発行＞
中部学院大学
子ども家庭支援センター
〒504-0837 岐阜県
各務原市那加甥田町30-1
Tel.058-375-3605
fax058-375-3609



小さな一歩が大きな一歩へ

中部学院大学子ども学部
子ども学科准教授 加納誠司

私、家では洗濯大臣を務めております。とは言っても、取り込みとたたみは妻の仕事で、寝る前にタイマー予約し洗い上げた洗濯物を干すだけがもっばらの仕事。出勤前に天気予報をチェックし、自宅の2階のベランダに出て3人分の洗濯物をバランスよく干しています。

3～4年前からでしょうか、私が早朝の業務をこなしていると、一組のお母さんと男の子の親子が、手をつないで歩いてくる姿が目にとまるようになりました。男の子のほうは入学したての1年生でしょうか。後に2軒どりの新築アパートに引っ越してきた親子であることがわかりました。親子はちょうど我が家の曲がり角で立ち止まり、話をしています。それもあまり楽しそうには見えない様子。どうも、男の子のほうは登校を渋っているらしく、母親のほうは、行くように促しているところでした。押し問答の末、結局男の子はその場所から意を決したように、つないでいる手を離し集合場所まで歩いていくのですが、何度も何度も母親のほうを振り返ります。お母さんのほうもしばらくそこに立ち、そんな息子を心配そうに見守っていました。小学校入学は、子どもにとっては大きな環境の変化ですから、よくあることかもしれません。ただ、それを間近で見えてしまうと、思わず感情が移入してしまいます。その光景をちょくちょく見るたびに、いつしかその男の子のことを、そしてお母さんのことも、心の中で応援するようになりました。

それから1年ぐらい経ってからでしょうか、あることに気付いたのです。その日も男の子とお母さんとのいつもの儀式を目にしたのですが、確実に手を離す場所が親子の家寄りに近づいているのです。つまり、男の子が集合場所まで一人で歩いていける距離が伸びているのです。それからときどき注意をしてみると、その位置は少しずつではありますが、男の子が一人で歩ける距離に移動しているのです。そして、とうとう我が家のベランダからは、その光景は目にする事ができない位置まで移動してしまいました。いつしか私もその親子のことを気に留めることもなくなりました。

今年の春のことです。もう一つの私の任務であります愛犬綱吉の散歩をしていると、あの親子を目にしたのです。そこは親子が住むアパートの前、男の子の「行ってきま～す」の声に、お母さんも笑顔で「行ってらっしゃい」と応えます。久しぶりに見た男の子は、もう立派に一人で集合場所まで歩けるようになるまで成長していたのです。感動しました。子どもは急に成長するわけではありません。一日一日ほんのちょっとした勇気を振り絞り、一步一步ですが確実に集合場所に近づいていったのです。そんな我が子の成長を見守ってきたお母さんも、相当ながんばりがあったのではないのでしょうか。成長した今でも、家の前まで出て息子を送り出すようなお母さんの温かなまなざしが、男の子の大きな一歩を生み出したのだと確信しました。

男の子は来年あたり上級生でしょうか。新入生の子の気持ちができる、いいお兄さんになれるでしょうね。自分がお母さんに握ってもらった愛情を、今度は新入生の子の手に握り還して登校する姿が目にと浮かびます。



「子育て実践プログラム」後期日程表



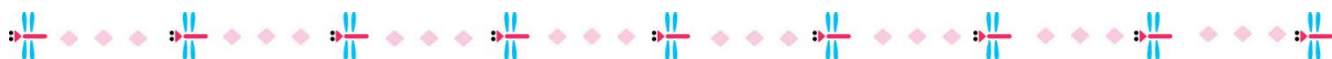
「2014年度子育て実践プログラム」の後期日程が決定しました。

子ども学部子ども学科・短期大学部幼児教育学科の教員を中心とし、各専門分野の先生方の講座や講演です。内容も様々で子育て中の保護者の方向けのプログラムとなっています。

お子さんと一緒に身体を動かして参加する講座もあれば、じっくりと話を聞く内容の講演もあります。保育士がについての託児もあります。(お子さんも保護者の方も安心して参加できる同室託児です)

(お問い合わせ・お申し込みはラ・ルーラまで TEL 058-375-3605)

9月4日 (木) 11:00 ~12:00頃	「子育ての喜び」 幼児教育学科教授 佐藤由紀子	わが子の何気ないしぐさから喜びや幸せを感じて子育てできたらどんなに素敵でしょう。自分の子育て体験から話をしたいと思います。
10月16日 (木) 11:00 ~12:00頃	「母親を楽しもう！」 子ども学科講師 橋村晴美	子育てに頑張り過ぎていませんか？がんばりすぎるとよい意味での笑顔を無くしてしまいます。本来の自分の感情も大切に、“母親としての自分探し”してみませんか？
11月14日 (金) 11:00 ~12:00頃	「子育ては言葉育て ~家庭と園と学校において~」 子ども学科准教授 山田丈美	子育ての中で、子どもの言葉の力を育てていくことの大切さとその手だてについて、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。
12月2日 (火) 11:00 ~12:00頃	「“ふつう”の発達って何だろう」 子ども学科准教授 水野友有	日本以外の国の子どもや子育てから、子ども・子育てについて一緒に考えていきましょう。
1月16日 (金) 11:00 ~12:00頃	「音楽のエッセンスを♪」 幼児教育学科教授 杉山祐子	子どもさんの成長に目をみはる日々をお過ごしのお母さんお父さん。子どものころの成長にも、親としてよろこんだりとまどつたりの毎日でしょうか。音楽はことば以上にこころを通わせる素敵な力があります。音楽遊びを通して、楽しみながら親子のコミュニケーションを深めていきましょう。歌ってふれあって、わが子のいいところをいっぱい発見しましょう。
2月17日 (火) 11:00 ~12:00頃	「親子で楽しむ童謡コンサート ~心の優しさを育む 素敵な童謡を生演奏で~」 子ども学科教授 眞野美佐子 (ピアノ伴奏：准教授 安田万里子)	親は子どもを育てながら親になっていくことについて、皆さんとやりとりしながら考えてみたいと思います。一緒に童謡を楽しみましょう。



ラ・ルーラでのひととき



幼稚園や保育園が夏休みということもあり、8月はとても賑やかで戸外遊びはもちろんのこと室内でも様々な遊びを楽しめたようです。その中のひとこまでとても楽しげな様子をお届けします。

赤ちゃんのおもちゃで「あてっこあそび」



Aちゃんといつも優しい笑顔のおばあちゃん。
いつも楽しそうに遊ばれていて周りのみんなも嬉しくなります。
ある日のこと、乳児スペースでこんな遊びが始まりました。
赤・黄・青・緑の4色の小さな玉を容器の中でカラカラと落として遊ぶ玩具を見つけAちゃんが遊び始めました。5歳のお姉ちゃんも一緒です。乳児用の玩具なので「二人には少し物足りないのでは…」と思って見ていると「きれいな音をたてて落ちてくるねえー」「さあー最後の色はなあ〜に！」とクイズが始まりました。およそ20個のカラフルな玉がカラカラと軽い音を立て段々を次々と落ちて行き、最後に残る玉の色を当てる遊びのようです。およそ10秒足らずで落ちてしまう玉の様子を見ながら「う〜んとねえ…アカアー!」「何かなあ… ああーあ黄色だったね」「次の(玉の)色はなにかな?」「次はアオ!」「何かなあかなー」「あっやったー!アオ!」「今度はねえー」・・・。
周りの子どもも加わりながら、何度も何度もその遊びは続いていました。

オリジナル手遊び

Bちゃんとママは月に何度もいらっしゃる常連さんで学生とも顔馴染みです。学生が保育図書を見ながら手遊びを探していると「グーチョキパーの歌、うちではこんな風に歌っているよ」と教えてくれました。

グーパーパーでグーパーパーで なにつくろー なにつくろー
右手がグーで左手もグーで …
なんじゃこりゃー (コチョコチョココチョコ〜) <すぐる<
なんじゃこりゃー (コチョコチョココチョコ〜) <すぐる<



コチョコチョコっとくすぐるところがやはりお気に入り、ママがくすぐってくれることを期待しながら「キャキャキャキャア〜」と逃げながらはしゃいでいました。ここでもやっぱりママの遊びが最高のようです。

「みんなで遊ぼう!」を内容変更します

学生サークルが中心となって進めてきましたが、当日参加者が多くなり参加者の把握が出来ず遊びが成立しないことも多々ありましたので内容を変更することにしました。

「親子で遊べるもの」を基本とし「ちょっと難しい遊びもパパやママと一緒になら楽しくできる」そんな楽しみ方や、難しいことに挑戦して出来た時の喜びを感じたり…。そんな遊びの広場にしていきたいと思います。

9月は「作って遊ぼうカーリング」を予定しています。その後「わりばしてっぽう」や「手品」「コマ回し」なども一緒に出来たらと思っています。
どうぞご参加ください。



＜ラ・ルーラ開設日＞火・水・木・金・土曜日（時間 10:00～16:00）

催しがあるときも ラ・ルーラ内では自由に遊べます。

10月の予定						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3 12:50～ ランチタイム コンサート	4
5 休み	6 休み	7 12:50～ ランチタイム コンサート	8	9 10:45～ お母さんのための リフレッシュ講座	10 11:00～ 移動図書館 (読み聞かせ)	11 みんなで遊ぼう 11:00～
12 休み	13 休み	14	15 げんき広場 10:45～11:30	16子育て実践 プログラム 11:00～12:00	17	18 終日 たのしみん祭 (関キャンパス)
19 休み	20 休み	21 12:50～ ランチタイム コンサート	22 にこにこ広場 10:45～11:30	23	24	25
26 休み	27 休み	28	29	30 赤ちゃんサロン 10:30～11:30	31 10月の誕生会 12:30～13:00	

*毎日 11 時頃にお話しの時間があります。

*各サロン・子育て実践プログラム等、ラ・ルーラ利用料(保険料)にてご利用いただけます。

尚、各行事は定員 15～20 組、準備のため事前参加申込みが必要です。

電話：058-375-3605 FAX：058-375-3609

10月の行事 * 内容紹介

9日 お母さんのためのリフレッシュ講座 スクラップブックング
(一枚のボードに思い出の写真をアートします。お気に入りの写真を持参してください。)

10日 移動図書館 ・読み聞かせ 図書館スタッフによる 本の紹介と読み聞かせ

11日 みんなで遊ぼう! 作って遊ぼう「カーリング遊び！」

15日 げんき広場 (2～3歳児対象) 散歩 : 学びの森(公園)へ出かけます

16日 子育て実践プログラム 「母親を楽しもう」
中部学院大学 子ども学科 講師 橋村 晴美

22日 にこにこ広場 (1歳児対象) 散歩 : 学びの森(公園)を散策します。

30日 赤ちゃんサロン (0歳児対象) 親子ふれあい遊び & 交流

31日 誕生会 10月生まれのお友達を みんなで祝います

3・7・21・31日 ランチタイムコンサート
吹奏楽部員(学生)による ミニコンサート

10月18日(土)は大学祭のため「関キャンパス」にて遊びの広場を開きます。どうぞお越しください